

平成 21 年 度

学 校 基 本 調 査 報 告 書

高知県総務部統計課

ま え が き

この報告書は、平成21年度に実施した学校基本調査（統計法による基幹統計）の結果の主要な部分を収録したものです。

学校基本調査は、学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とした、わが国の学校教育全般に関する最も重要な調査の一つで、昭和23年以来毎年実施されているものです。

本書が高知県における学校教育行政等の基本的な資料として活用されれば幸いです。

なお、本書を発刊するにあたり、この調査の実施に格別のご協力をいただいた各学校をはじめ、市町村、市町村教育委員会その他の関係各位に対し深く感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご協力をいただきますようお願いいたします。

平成22年2月

高知県総務部長 恩田 馨

利用者のために

用語の解釈

- 1 **教員**とは、校長、園長、副校長、副園長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭及び講師を総称したものである。
- 2 **職員**とは、教員以外の学校職員を総称し、事務職員、学校図書館事務員、養護職員、学校栄養職員、学校給食調理従業員、用務員、警備員、その他の職員をいう。
- 3 **単式学級**とは、同学年の児童又は生徒のみで編成されている学級をいう。
- 4 **複式学級**とは、2以上の学年の児童・生徒で編成されている学級をいう。
- 5 **特別支援学級**とは、学校教育法第81条第2項各号に該当する児童・生徒（知的障害者・肢体不自由者、病弱・身体虚弱者、弱視者、難聴者、言語障害者、自閉症・情緒障害者）で編成されている学級をいう。
- 6 **長期欠席者**とは、平成21年3月31日現在の在学者のうち、平成20年4月1日から平成21年3月31日までの1年間に連続又は断続して30日以上欠席した児童・生徒をいう。
- 7 **就学免除者及び就学猶予者**とは、市町村教育委員会が就学の免除又は猶予の処置を行った者をいう。
- 8 **年齢区分**は、平成21年4月1日現在の満年齢である。
- 9 統計表中「－」は該当のないものを、「0.0」は計算が表示単位未満を示している。
- 10 本調査では、国立学校については文部科学省が直接調査を実施するが、本年も国立の幼稚園、小・中学校及び特別支学校の数値を含めて掲載した。
- 11 日高村・佐川町学校組合立加茂小学校及び加茂中学校は、学校の所在地のある日高村に計上し、本山町土佐町学校組合立嶺北中学校は、同じく学校の所在地のある本山町に計上した。

調 査 の 概 要

この調査は、統計法による基幹統計として昭和23年から実施しているもので、平成21年度の本県の調査概要は次のとおりである。

1 調 査 の 目 的

学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調 査 の 期 日

平成21年5月1日現在

ただし、卒業後の状況調査は、平成21年3月に卒業した者の平成21年5月1日現在の状況である。

3 調 査 の 対 象

- (1) 学校教育法第1条に定める幼稚園、小学校、中学校、高等学校、及び特別支援学校
- (2) 同法第124条に定める専修学校
- (3) 同法第134条に定める各種学校
- (4) 同法第18条（就学義務の猶予及び免除）の学齢児童及び生徒

4 百 分 率 の 数 値

小数点2位の四捨五入により処理しているため、合計が100とならない場合がある。

目 次

調 査 結 果 の 概 要

I 学 校 調 査

- 1 幼稚園
- 2 小学校
- 3 中学校
- 4-1 高等学校（全日制・定時制）
- 4-2 高等学校（通信制）
- 5 特別支援学校
- 6 専修学校
- 7 各種学校

II 卒業後の状況調査

- 1 中学校
- 2-1 高等学校（全日制・定時制）
- 2-2 高等学校（通信制）

統 計 表

- 1 幼稚園市町村別園数・学級数・在園者数・入園者数及び修了者数
- 2 幼稚園市町村別教職員数
- 3 小学校市町村別学校数・学級数
- 4 小学校市町村別児童数
- 5 小学校学級編成方式別児童数、外国人児童数及び帰国児童数
- 6 小学校理由別長期欠席者数
- 7 小学校市町村別教員数
- 8 小学校市町村別職員数（本務者）
- 9 中学校市町村別学校数・学級数
- 10 中学校市町村別生徒数
- 11 中学校学級編成方式別生徒数、外国人生徒数及び帰国生徒数
- 12 中学校理由別長期欠席者数
- 13 中学校市町村別教員数
- 14 中学校市町村別職員数（本務者）
- 15 高等学校市町村別設置課程別学校数、入学状況（本科）
- 16 高等学校市町村別生徒数（全日制＋定時制）
- 17 高等学校市町村別全日制課程生徒数
- 18 高等学校市町村別定時制課程生徒数

- 19 高等学校小学科別入学状況（本科）
- 20 高等学校小学科別生徒数（本科）
- 21 高等学校市町村別教員数
- 22 高等学校市町村別職員数（本務者）
- 23 高等学校（通信制）市町村別学校数、生徒数
- 24 高等学校（通信制）市町村別教員数
- 25 高等学校（通信制）市町村別職員数（本務者）
- 26 特別支援学校市町村別学校数、学級数及び在学者数
- 27 特別支援学校市町村別教職員数
- 28 専修学校市町村別学校数・生徒数・入学者数・卒業者数及び教職員数
- 29 各種学校市町村別学校数・生徒数・入学者数及び教職員数
- 30 専修学校学科別生徒数・入学者数及び卒業者数
- 31 各種学校課程別生徒数・入学者数及び卒業者数
- 32 中学校進路別卒業者数及び進学率・就職率（その1）
- 33 中学校進路別卒業者数及び進学率・就職率（その2）
- 34 高等学校等への進学者・専修学校等入学者
- 35 就職地（県内外）・産業（3区分）別就職者数
- 36 高等学校進路別卒業者数及び進学率・就職率（その1）
- 37 高等学校進路別卒業者数及び進学率・就職率（その2）
- 38 高等学校（全日制）学科別・進路別卒業者数
- 39 高等学校（定時制）学科別・進路別卒業者数
- 40 大学・短期大学への進学者数及び専修学校等入学者（全日制＋定時制）
- 41 高等学校卒業後産業別・就業地別就職者数
- 42 高等学校卒業後学科別・産業別就職者数
- 43 高等学校卒業後就職者産業別・就業地別比率
- 44 高等学校卒業後職業別就職者数
- 45 高等学校卒業後学科別・職業別就職者数
- 46 高等学校（通信制）学科別・進路別卒業者数
- 47 大学・短期大学への進学者数及び専修学校等入学者（通信制卒業者）
- 48 高等学校（通信制）卒業後学科別・産業別就職者数
- 49 高等学校（通信制）卒業後就職者産業別・就業地別比率
- 50 高等学校（通信制）卒業後学科別・職業別就職者数
- 51 特別支援学校卒業後の状況
- 52 特別支援学校高等部卒業後産業別就職者数
- 53 特別支援学校高等部卒業後職業別就職者数
- 54 年齢別就学免除者数・猶予者数・居所不明者数及び死亡者数

調査結果の概要

I 学校調査

1 幼稚園

(1) 幼稚園数

幼稚園数は、64園であった。

設置者別にみると、国立1園(構成比1.6%)、公立30園(同46.9%)、私立33園(同51.6%)となっている。

(2) 園児数

園児数は、4,402人(男子2,170人、女子2,232人)で、前年度より206人減少した。

設置者別の構成では、国立が143人(構成比3.2%)、公立が1,044人(同23.7%)、私立が3,215人(同73.0%)となっている。

また、年齢別にみると、3歳児1,223人(構成比27.8%)、4歳児1,536人(同34.9%)、5歳児1,643人(同37.3%)となっている。

本年度の入園者数は、1,506人(男子733人、女子773人)であった。一方、修了者数は、1,774人(男子902人、女子872人)であった。

就園率(小学校1年生に対する幼稚園修了者の割合)は、28.1%で、前年度と変化はないが、全国平均の56.4%を28.3ポイント下回っている。

表1 年齢別園児数の推移

年 度	計	男	女	3歳児	4歳児	5歳児
平成16年度	5,113	2,568	2,545	1,466	1,828	1,819
17	5,251	2,678	2,573	1,467	1,886	1,898
18	5,132	2,537	2,595	1,348	1,862	1,922
19	4,849	2,399	2,450	1,329	1,659	1,861
20	4,608	2,282	2,326	1,283	1,658	1,667
21	4,402	2,170	2,232	1,223	1,536	1,643

(3) 学級数

学級数は、232学級で、前年度より5学級減少している。

設置者別にみると、国立が5学級(構成比2.2%)、公立が64学級(同27.6%)、私立が163学級(同70.3%)となっている。

(4) 教員数（本務者）

教員数は、419人（男子30人、女子389人）で、前年度より26人減少している。

設置者別にみると、国立が6人（構成比1.4%）、公立が129人（同30.8%）、私立が284人（同67.8%）となっている。

本務教員1人当たりの園児数は、10.5人で前年度より0.1人増加し、全国平均の14.7人より4.2人少ない。

2 小学校

(1) 学校数

学校数は、23校を廃校し2校が新設されたことにより、277校（本校274校、分校3校）となった。

設置者別では、国立1校、公立275校、私立1校となっている。

表2 設置者別学校数の推移

年 度	計			国立	公立			私立
	計	本校	分校	本校	計	本校	分校	本校
平成16年度	317	314	3	1	315	312	3	1
17	314	310	4	1	312	308	4	1
18	310	306	4	1	308	304	4	1
19	305	301	4	1	303	299	4	1
20	298	295	3	1	296	293	3	1
21	277	274	3	1	275	272	3	1

(2) 児童数

児童数は、39,829人（男子20,411人、女子19,418人）で、前年度より910人（男子478人、女子432人）、率にして2.2%減少し、昭和58年度から27年連続の減少となった。

学級編成方式別にみると、単式学級37,978人（児童総数の95.4%）、複式学級1,178人（同3.0%）、特別支援学級673人（同1.7%）となっている。

次に市郡部の構成をみると、市部が33,156人、郡部が6,673人で、市部の構成比は、83.2%である。また、県内の47.9%の児童が高知市に集中している。

表3 学年別児童数の推移

年 度	計	男	女	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
平成16年度	43,562	22,375	21,187	6,925	7,229	7,156	7,363	7,421	7,468
17	42,720	21,918	20,802	6,686	6,918	7,200	7,167	7,354	7,395
18	42,054	21,649	20,405	6,815	6,671	6,910	7,174	7,147	7,337
19	41,321	21,324	19,997	6,737	6,789	6,658	6,872	7,140	7,125
20	40,739	20,889	19,850	6,672	6,689	6,765	6,649	6,835	7,129
21	39,829	20,411	19,418	6,324	6,631	6,676	6,741	6,627	6,830

表4 特別支援学級の児童数

区 分	児 童 数						
	計	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
知的障害	333	48	55	51	53	57	69
肢体不自由	56	7	10	8	15	3	13
病弱・身体虚弱	29	4	2	5	9	4	5
弱視	15	1	3	2	3	4	2
難聴	22	1	2	4	5	6	4
言語障害	2	—	1	—	—	—	1
自閉症・情緒障害	216	29	32	48	33	39	35
合 計	673	90	105	118	118	113	129

(3) 学級数

学級数は、2,239 学級で、前年度より 76 学級減少した。これを編成方式別にみると、単式学級が 1,716 学級（構成比 76.6%）、複式学級が 152 学級（同 6.8%）、特別支援学級が 371 学級（同 16.6%）となっている。

収容人員別では、1～20 人の学級が最も多く 1,141 学級で、約半数を占めている。

1 学級当たりの平均児童数は 17.8 人で、全国平均の 25.4 人より 7.6 人少なくなっている。

表5 収容人員別学級数の推移

年 度	総学級数	1～20人(構成比)		21～30人(構成比)		31～40人(構成比)		41人以上(構成比)	
平成16年度	2,344	1,191	(50.8)	630	(26.9)	523	(22.3)	—	(—)
17	2,345	1,200	(51.2)	737	(31.4)	408	(17.4)	—	(—)
18	2,356	1,232	(52.3)	776	(32.9)	348	(14.8)	—	(—)
19	2,338	1,217	(52.1)	805	(34.4)	316	(13.5)	—	(—)
20	2,315	1,205	(52.1)	801	(34.6)	308	(13.3)	1	(0.0)
21	2,239	1,141	(51.0)	821	(36.7)	277	(12.4)	—	(—)

(4) 教員数（本務者）

教員数は、3,415 人（男子 1,045 人、女子 2,370 人）で前年度より 90 人減少している。

男女別の構成では、女子教員が教員総数の 69.4% を占め、前年度より 0.1 ポイント増加している。

本務教員 1 人当たりの児童数は、11.7 人で前年度より 0.1 人増加し、全国平均の 16.8 人よりも 5.1 人少なくなっている。

表6 教員数（本務者）の推移

年 度	計	男	女	女子教員の割合		教員 1 人当たりの児童数	
				高知	全国	高知	全国
平成16年度	3,764	1,135	2,629	69.8	62.7	11.6	17.4
17	3,720	1,129	2,591	69.7	62.7	11.5	17.3
18	3,655	1,107	2,548	69.7	62.7	11.5	17.2
19	3,581	1,086	2,495	69.7	62.7	11.5	17.1
20	3,525	1,081	2,444	69.3	62.8	11.6	17.0
21	3,415	1,045	2,370	69.4	62.8	11.7	16.8

(5) 長期欠席の児童数

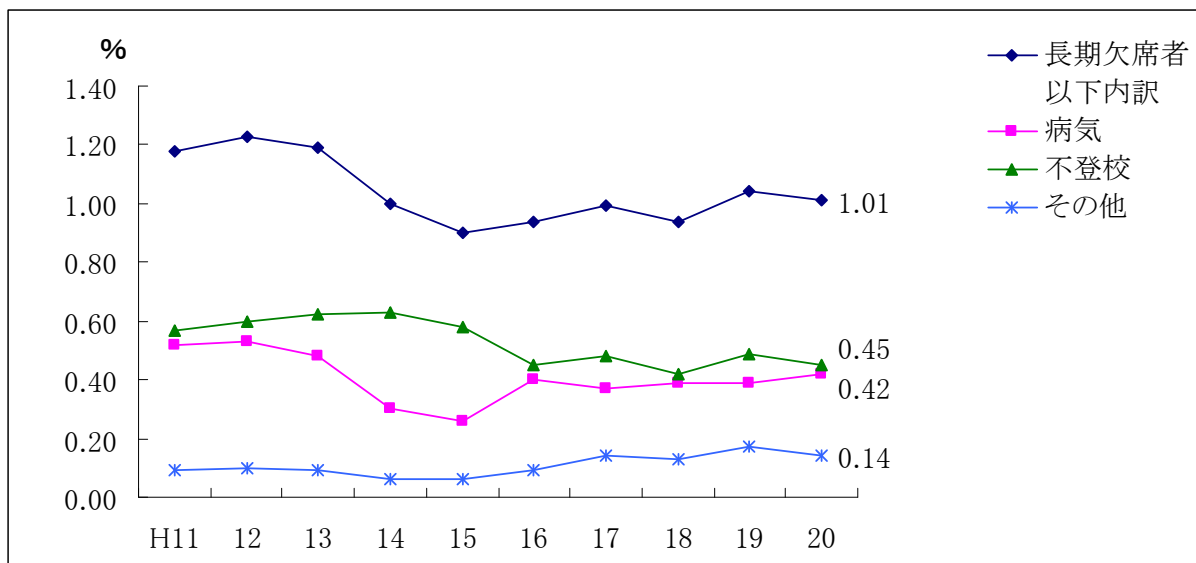
平成20年度間に連続または断続して30日以上欠席した児童数は、412人（全児童数に占める割合1.0%）で、前年度より19人減少した。

理由別では、不登校が184人（構成比44.7%）、病気170人（同41.3%）、その他58人（同14.1%）となっている。

表7 長期欠席者数の推移

年度	長期欠席者数					全児童数
	計	病気	経済的理由	不登校	その他	
平成15年度	398	116	1	257	24	44,096
16	409	173	0	196	40	43,562
17	424	159	0	207	58	42,720
18	396	165	0	176	55	42,054
19	431	160	1	201	69	41,321
20	412	170	0	184	58	40,739

図1 全児童数に占める長期欠席者比率の推移



注) 経済的理由はその他に含めた。

3 中学校

(1) 学校数

学校数は、139校（本校138校、分校1校）であった。

設置者別では、国立1校、公立130校、私立8校となっている。

生徒数別に学校数をみると、1～49人の学校が最も多く44校で、全学校数の31.7%を占めている。

表8 設置者別学校数の推移

年 度	計			国立	公立			私立
	計	本校	分校	本校	計	本校	分校	本校
平成16年度	142	141	1	1	133	132	1	8
17	142	141	1	1	133	132	1	8
18	142	141	1	1	133	132	1	8
19	140	139	1	1	131	130	1	8
20	139	138	1	1	130	129	1	8
21	139	138	1	1	130	129	1	8

表9 生徒数別学校数

区 分	計	0人	1 ～49人	50 ～99人	100 ～149人	150 ～199人	200 ～249人	250 ～299人	300 ～399人	400 ～499人	500 ～599人	600 ～699人	700 ～799人	800人 以上
県 計	139	14	44	21	13	7	6	7	11	5	7	2	2	—
本 校	138	14	43	21	13	7	6	7	11	5	7	2	2	—
分 校	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国 立	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
公 立	130	13	43	21	13	6	6	7	11	4	4	2	—	—
私 立	8	1	1	—	—	1	—	—	—	—	3	—	2	—

注：『0人』とあるのは、休校中の学校である。

(2) 生徒数

生徒数は、21,410人（男子11,154人、女子10,256人）で前年度より328人（男子90人、女子238人減）、率にして1.5%減少し、平成9年から13年連続の減少となった。

学級編成別では、単式学級が21,489人（全生徒数の98.9%）、複式学級が31人（同0.1%）、特別支援学級が218人（同1.0%）となっている。

次に、市郡別の構成をみると、市部が17,735人、郡部が3,675人で、市部の構成比は82.8%である。また、県内の49.4%の生徒が高知市に集中している。

表10 学年別生徒数の推移

年 度	計	男	女	1 学年	2 学年	3 学年
平成16年度	22,388	11,392	10,996	7,457	7,433	7,498
17	22,323	11,395	10,928	7,461	7,450	7,412
18	22,295	11,372	10,923	7,392	7,459	7,444
19	22,125	11,285	10,840	7,305	7,387	7,433
20	21,738	11,244	10,494	7,074	7,303	7,361
21	21,410	11,154	10,256	7,071	7,062	7,277

表 11 特別支援学級の生徒数

区 分	生 徒 数			
	計	1 学年	2 学年	3 学年
知的障害	98	32	33	33
肢体不自由	20	8	2	10
病弱・身体虚弱	10	6	1	3
弱視	3	1	—	2
難聴	5	1	3	1
言語障害	2	2	—	—
自閉症・情緒障害	114	36	36	42
合 計	252	86	75	91

(3) 学級数

学級数は、920 学級で、前年度より 5 学級増加した。これを編成方式別にみると、単式学級が 750 学級（構成比 81.5%）、複式学級が 6 学級（同 0.7%）、特別支援学級が 164 学級（同 17.8%）となっている。

収容人員別では、1～20 人の学級が 319 学級（構成比 34.7%）で最も多くなっている。

1 学級当たりの平均生徒数は、23.3 人で、全国平均の 29.7 人より 6.4 人少ない。

表 12 収容人員別学級数の推移

年 度	総学級数	1～20人(構成比)		21～30人(構成比)		31～40人(構成比)		41人以上(構成比)	
平成16年度	914	303	(33.2)	198	(21.7)	347	(38.0)	66	(7.2)
17	915	307	(33.6)	208	(22.7)	337	(36.8)	63	(6.9)
18	912	301	(33.0)	218	(23.9)	330	(36.2)	63	(6.9)
19	907	309	(34.1)	192	(21.2)	347	(38.3)	59	(6.5)
20	915	319	(34.9)	236	(25.8)	307	(33.6)	53	(5.8)
21	920	319	(34.7)	248	(27.0)	311	(33.8)	42	(4.6)

(4) 教員数（本務者）

教員数は、2,298 人（男子 1,186 人、女子 1,112 人）で、前年度より 14 人減少している。

男女別の構成では、女子教員の比率は 48.4%で前年度より 0.1 ポイント上昇した。

本務教員 1 人当たりの生徒数は、9.3 人で前年度より 0.1 人減少し、全国平均の 14.4 人より 5.1 人少ない。

表 13 教員数（本務者）の推移

年 度	計	男	女	女子教員の割合		教員 1 人当たりの生徒数	
				高知	全国	高知	全国
平成16年度	2,425	1,261	1,164	48.0	41.0	9.2	14.7
17	2,395	1,263	1,132	47.3	41.1	9.3	14.6
18	2,349	1,234	1,115	47.5	41.2	9.5	14.5
19	2,317	1,208	1,109	47.9	41.4	9.5	14.5
20	2,312	1,195	1,117	48.3	41.5	9.4	14.4
21	2,298	1,186	1,112	48.4	41.7	9.3	14.4

(5) 長期欠席の生徒数

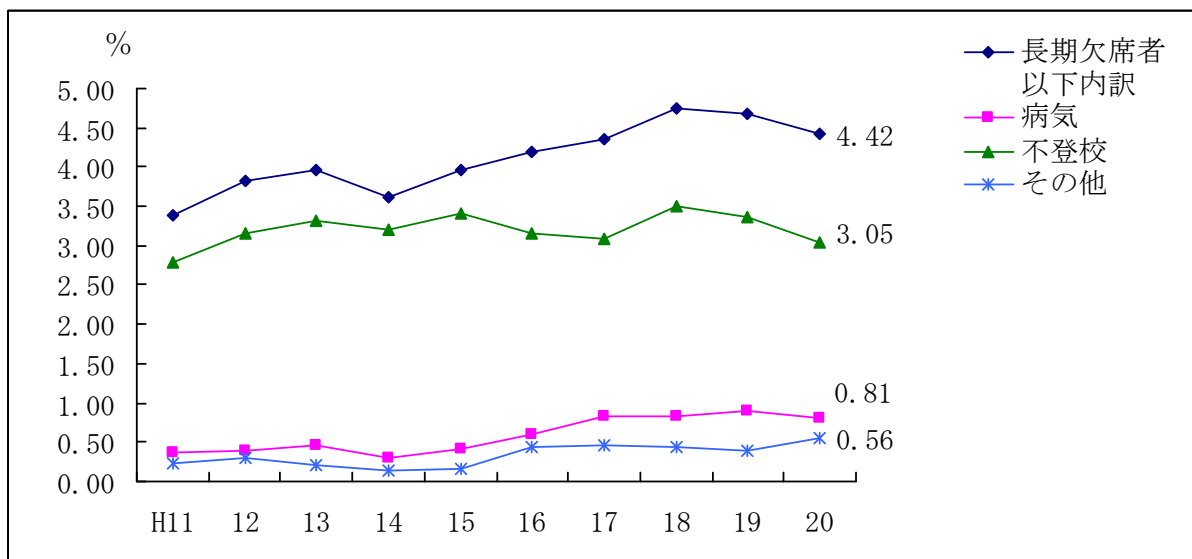
平成20年度間に連続または継続して30日以上欠席した生徒数は、961人（全生徒数に占める割合4.4%）で、前年度より74人減少した。

理由別では、不登校664人（構成比69.1%）、病気175人（同18.2%）、経済的理由1人（同0.1%）、その他121人（同12.6%）となっている。

表14 長期欠席者の推移

年 度	長 期 欠 席 者 数					全生徒数
	計	病気	経済的理由	不登校	その他	
平成15年度	915	94	0	786	35	23,122
16	939	135	1	705	98	22,388
17	972	183	2	687	100	22,323
18	1,060	184	1	780	95	22,295
19	1,035	201	1	745	88	22,125
20	961	175	1	664	121	21,738

図2 全生徒数に占める長期欠席者比率の推移



注) 経済的理由はその他に含めた。

4-1 高等学校（全日制・定時制）

（1）学校数

学校数は、49校（本校46校、分校3校）であった。

設置者別では、公立40校、私立9校となっている。

課程別にみると、全日制課程のみの設置校が34校、定時制課程のみの設置校が4校、全日制課程と定時制課程の両方を設置する併置校が11校となっている。

（2）生徒数

生徒数は、21,408人（男子10,750人、女子10,658人）で前年度より98人減少した。また、本科・専攻科別の内訳は、本科21,207人、専攻科201人となっている。

本科の生徒数を課程別でみると、全日制課程が19,801人、定時制課程が1,406人となっている。

また、学科別（本科）では、普通科が13,192人（構成比61.6%）で最も多く、次いで工業科2,330人（同11.0%）、総合学科2,220人（同10.4%）、商業科1,517人（同7.1%）の順となっている。

表15 学年別生徒数の推移

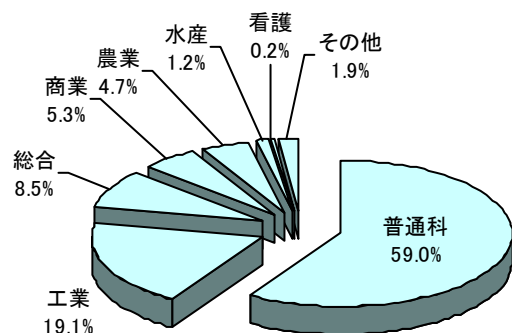
年度	計	男	女	1学年	2学年	3学年	4学年	専攻科
平成16年度	24,188	12,204	11,984	8,088	7,806	7,897	222	175
17	23,104	11,601	11,503	7,446	7,691	7,599	207	161
18	22,153	11,126	11,027	7,336	6,998	7,477	198	144
19	21,505	10,829	10,676	7,285	6,981	6,926	167	146
20	21,506	10,789	10,717	7,250	6,898	7,013	159	186
21	21,408	10,750	10,658	7,156	6,932	6,993	126	201

表16 課程別、学科別（本科）生徒数の比率の推移

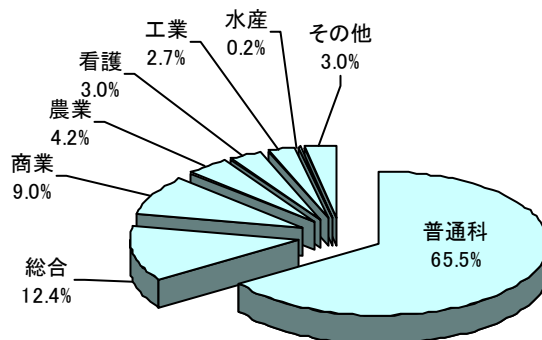
年度	生徒数	課程		学科								
		全日制	定時制	普通	工業	商業	農業	家庭	看護	水産	総合	その他
平成16年度	24,013	94.3	5.7	60.7	10.8	7.7	6.1	0.7	1.0	0.8	8.4	3.6
17	22,943	94.0	6.0	60.9	10.7	7.6	5.9	0.5	1.3	0.8	9.1	3.3
18	22,009	94.0	6.0	61.2	10.8	7.5	5.5	0.3	1.5	0.9	9.6	2.8
19	21,359	93.7	6.3	62.1	10.5	7.2	5.0	0.1	1.6	0.8	10.1	2.6
20	21,320	93.4	6.6	62.0	10.8	7.1	4.6	0.0	1.6	0.8	10.6	2.5
21	21,207	93.4	6.6	62.2	11.0	7.2	4.5	0.0	1.6	0.7	10.5	2.5

図3 学科別（本科）生徒数の比率

[男子]



[女子]



(3) 教員数（本務者）

教員数は、2,135人（男子1,306人、女子829人）で、前年度より6人減少した。

男女別の構成では、女子教員の比率は38.8%で前年度より0.1ポイント低下した。

本務教員1人当たりの生徒数は、10.0人で前年度と変わらず、全国平均の14.0人より4.0人少ない。

表17 教員数（本務者）の推移

年度	計	男	女	女子教員の割合		教員1人当たりの生徒数	
				高知	全国	高知	全国
平成16年度	2,324	1,437	887	38.2	27.5	10.4	14.5
17	2,270	1,402	868	38.2	27.6	10.2	14.3
18	2,241	1,371	870	38.8	27.9	9.9	14.1
19	2,176	1,335	841	38.6	28.1	9.9	14.0
20	2,141	1,309	832	38.9	28.5	10.0	14.0
21	2,135	1,306	829	38.8	28.9	10.0	14.0

4-2 高等学校（通信制）

(1) 学校数

学校数は、3校（併置校3校）であった。

(2) 生徒数（「特科生」を含む）

生徒数は、812人（男子323人、女子489人）であった。

(3) 教員数（本務者）

教員数は、39人（男子20人、女子19人）であった。

5 特別支援学校

(1) 学校数

学校数は、1校が廃校となり14校となった。

設置者別では、国立1校、公立12校、私立1校となっている。

(2) 在学者数

在学者数は、861人（男子559人、女子302人）で、前年度より38人増加している。

表18 幼・小・中・高等部別在学者数

区分	計	幼稚園部	小学部	中学部	高等部
特別支援学校	861	3	175	243	440

(3) 教員数（本務者）

教員数は、594人で、前年度より4人増加した。

6 専修学校

(1) 学校数

学校数は、1校が廃校したことにより26校（公立1校、私立25校）となった。

(2) 生徒数

生徒数は、3,485人（男子1,488人、女子1,997人）で、前年度より194人減少している。

課程別にみると、高等課程が78人で、前年度より27人減少し、専門課程が3,407人で、167人減少した。

また、分野別では、医療関係の1,728人（構成比49.6%）が最も多く、次いで衛生関係の427人（同12.3%）、の教育社会福祉関係425人（同12.2%）の順となっている。これを男女別にみると、男子は、医療関係688人（同46.2%）、工業関係230人（同15.5%）、教育社会福祉関係177人（同11.9%）の順に多く、女子は、医療関係1,040人（同52.1%）、衛生関係269人（同13.5%）、教育社会福祉関係248人（同12.4%）の順となっている。

本年度の入学者は、1,463人（男子625人、女子838人）で、前年度より127人増加している。一方、卒業者は、1,433人（男子632人、女子801人）で、前年度より119人減少した。

(3) 教員数（本務者）

教員数は、260人（男子118人、女子142人）で、前年度より20人減少している。

表19 専修学校の学校数、生徒数、入学者及び教員数

年 度	学校数	生 徒 数			入 学 者 数			卒業者数 (前年度間)	教員数（本務者）		
		計	男	女	うち就職している人	うち新規卒業者	計		男	女	
平成16年度	30	4,462	1,828	2,634	1,965	69	1,311	1,643	261	113	148
17	30	4,465	1,888	2,577	1,936	159	1,321	1,675	271	122	149
18	30	4,281	1,824	2,457	1,805	118	1,319	1,712	268	119	149
19	28	4,095	1,715	2,380	1,675	111	1,193	1,589	273	117	156
20	27	3,679	1,537	2,142	1,336	5	966	1,552	280	122	158
21	26	3,485	1,488	1,997	1,463	9	1,064	1,433	260	118	142

7 各種学校

(1) 学校数

学校数は、1校が廃校したことにより、12校（すべて私立）となった。

(2) 生徒数

生徒数は、783人（男子341人、女子442人）で、前年度より49人減少している。

課程別にみると、予備校が465人（構成比59.4%）で最も多く、次いで准看護205人（同26.2%）の順となっている。

男女別では、男子は、予備校の 268 人（構成比 78.6%）が最も多く、次いで准看護 39 人（同 11.4%）となっている。女子は、予備校の 197 人（同 41.7%）が最も多く、次いで准看護 166 人（同 35.2%）の順となっている。

本年度の入学者は、486 人（男子 233 人、女子 253 人）で、前年度より 40 人の減少となった。また、卒業生数は 536 人（男子 262 人、女子 274 人）で前年度より 75 人減少した。

（3）教員数（本務者）

教員数は、37 人（男子 13 人、女子 24 人）で、前年度より 2 人減少している。

表 20 各種学校の学校数、生徒数、入学者及び教員数の推移

年 度	学校数	生 徒 数			入学者数		卒業生数 (前年度間)	教員数 (本務者)		
		計	男	女		うち就業している者		計	男	女
平成16年度	17	1,117	508	609	684	18	997	46	16	30
17	17	1,071	450	621	673	27	814	48	18	30
18	17	988	379	609	625	35	775	48	17	31
19	15	876	334	542	560	37	646	43	16	27
20	13	832	349	483	526	32	611	39	14	25
21	12	783	311	472	486	36	536	37	13	24

II 卒業後の状況調査

1 中学校

(1) 卒業者

卒業者数は、7,357人（男子3,714人、女子3,643人）で、前年度より57人減少している。進路別にみると、高等学校等進学者7,209人、専修学校（高等課程）進学者13人、専修学校（一般課程）等入学者5人、公共職業能力開発施設等入学者9人、就職者35人などとなっている。

(2) 高等学校等進学者（就職進学者含む）

高等学校等進学者は、7,209人（男子3,620人、女子3,589人）で前年度より21人減少した。その進学先別にみると、高等学校が6,967人、高等専門学校が191人、特別支援学校高等部が51人となっている。

高等学校等進学率は98.0%（男子97.5%、女子98.5%）で、前年度より0.5ポイント上昇し、全国平均の97.9%を0.1ポイント上回っている。

(3) 就職者（就職進学者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含む。）

就職者総数は、37人（男子28人、女子9人）で、前年度より12人減少している。

就職率は、0.5%（男子0.8%、女子0.2%）で、前年度より0.1ポイント下降し全国平均の0.5%と同水準となっている。

産業別にみると、第1次産業が7人（構成比18.9%）、第2次産業が7人（同18.9%）、第3次産業が23人（同62.2%）となっている。

表 21 中学校の進路別卒業者数

年次	卒業者			高等学校等進学者(A)			専修学校(高等課程)進学者(B)			専修学校(一般課程)等入学者(C)			公共職業能力開発施設等入学者(D)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成16年3月	8,168	4,149	4,019	7,909	3,976	3,933	35	23	12	6	6	0	19	19	0
17	7,481	3,777	3,704	7,280	3,634	3,646	41	28	13	9	6	3	19	19	0
18	7,395	3,731	3,664	7,237	3,609	3,628	17	13	4	6	3	3	24	24	0
19	7,436	3,831	3,605	7,274	3,717	3,557	23	12	11	5	4	1	26	25	1
20	7,414	3,786	3,628	7,230	3,672	3,558	24	12	12	7	7	0	13	13	0
21	7,357	3,714	3,643	7,209	3,620	3,589	13	8	5	5	5	0	9	9	0

(つづき)

年次	就職者(E)			左記以外の者(F)			死亡・不祥の者(G)			進学者(A)のうち他県への進学者	再掲(A)(B)(C)(D)の内就職者		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女		計	男	女
平成16年3月	65	52	13	134	73	61	0	0	0	75	9	8	1
17	43	36	7	87	53	34	2	1	1	87	2	1	1
18	39	33	6	72	49	23	0	0	0	81	6	2	4
19	39	30	9	69	43	26	0	0	0	57	1	1	0
20	47	35	12	92	46	46	1	1	0	62	0	0	0
21	35	26	9	86	46	40	0	0	0	95	2	2	0

表 22 中学校卒業者の進学率・就職率

年次	高等学校等進学率 (%)			就職率 (%)			全 国					
	計	男	女	計	男	女	進学率 (%)			就職率 (%)		
							計	男	女	計	男	女
平成16年3月	96.8	95.8	97.9	0.9	1.4	0.3	97.5	97.2	97.8	0.7	1.0	0.4
17	97.3	96.2	98.4	0.6	1.0	0.2	97.6	97.3	97.9	0.7	1.0	0.4
18	97.9	96.7	99.0	0.6	0.9	0.3	97.7	97.4	98.0	0.7	1.0	0.4
19	97.8	97.0	98.7	0.5	0.8	0.2	97.7	97.4	98.0	0.7	1.0	0.4
20	97.5	97.0	98.1	0.6	0.9	0.3	97.8	97.6	98.1	0.7	0.9	0.4
21	98.0	97.5	98.5	0.5	0.8	0.2	97.9	97.7	98.2	0.5	0.7	0.3

表 23 産業別就職者数（県内・県外）の推移

年次	就職者数	県 内					県 外				
		計	第一次産業	第二次産業	第三次産業	その他	計	第一次産業	第二次産業	第三次産業	その他
平成16年3月	74	66	12	29	22	3	8	—	1	5	2
17	45	40	6	14	19	1	5	2	1	2	—
18	45	41	1	19	20	1	4	—	3	1	—
19	40	32	4	9	16	3	8	1	2	5	—
20	47	43	8	19	16	—	4	—	—	4	—
21	37	34	6	6	22	—	3	1	1	1	—

図 4 中学校卒業生数及び進学率の推移

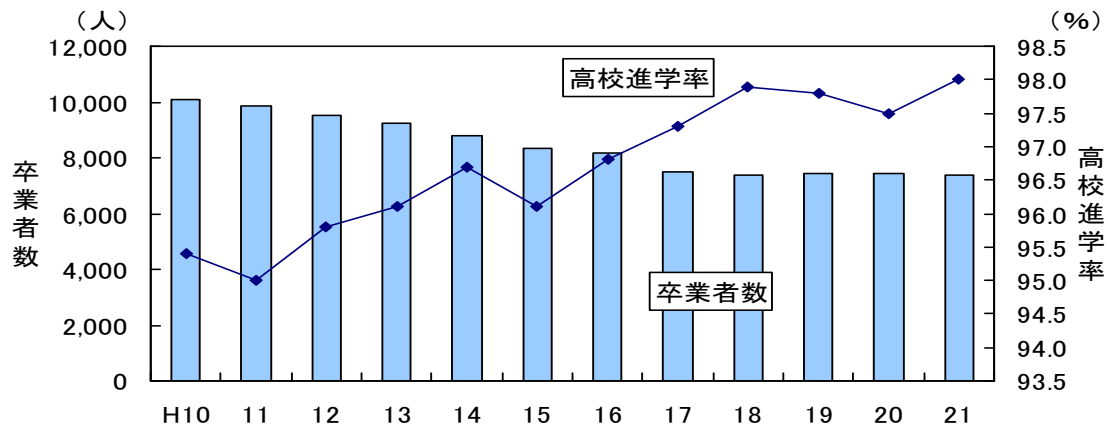
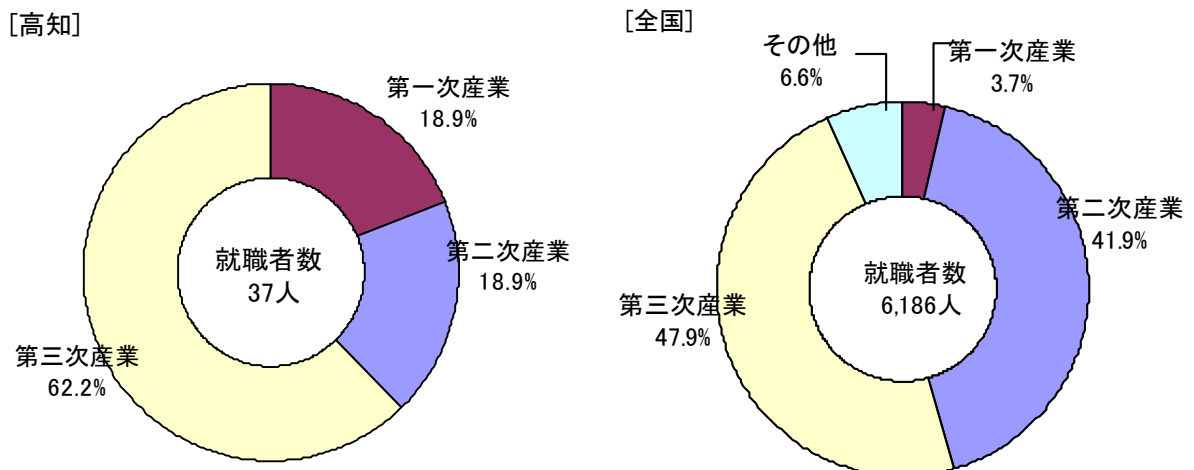


図 5 就職者の産業別構成



2-1 高等学校（全日制・定時制）

（1）卒業者

卒業者は、6,908人（男子3,376人、女子3,532人）で前年度より284人増加した。

進路別にみると、大学等進学者3,010人、専修学校（専門課程）進学者1,663人、専修学校（一般課程）等入学者431人、公共職業能力開発施設等入学者80人、就職者1,267人、一時的な仕事に就いた者32人などとなっている。

（2）大学等進学者（就職進学者を含む）

大学等進学者は、3,010人（男子1,289人、女子1,721人）で前年度より38人増加した。

進学先別にみると、大学学部が2,470人（構成比82.1%）、短期大学本科が438人（同14.6%）、高等学校専攻科が101人（同3.4%）などとなっている。

大学等進学率は、43.6%で前年度より1.3ポイント下降し、全国平均の53.9%を10.3ポイント下回っている。

男女別にみると、男子は38.2%、女子は48.7%で、男子は2.1ポイント、女子は0.7ポイント下降し、全国平均（男子52.3%、女子55.5%）と比較すると、男子は14.1ポイント、女子は6.8ポイント下回っている。

（3）就職状況（就職して大学等へ進学・入学した者を含む）

就職者総数は、1,272人（男子828人、女子444人）で前年度より6人増加した。

就職率は、18.4%で前年度より0.8ポイント下降し、全国平均の18.2%より0.2ポイント上回っている。男女別では、男子は24.5%で前年度より1.2ポイント下降し、女子は12.6%で0.2ポイント上昇した。全国平均（男子21.1%、女子15.2%）と比較すると、男子は3.4ポイント上回り、女子は2.6ポイント下回っている。

産業別にみると、製造業が489人（構成比38.4%）で最も多く、次いで卸売・小売業が143人（同11.2%）、宿泊業・飲食サービス業が105人（同8.3%）、サービス業及び公務が96人（同7.5%）、建設業が61人（同4.8%）の順となっている。男女別では、男子は製造業が404人（構成比48.8%）、公務が76人（同9.2%）、建設業が58人（同7.0%）、卸売・小売業が55人（同6.6%）の順に多く、女子では、卸売・小売業が88人（同19.8%）、製造業が85人（同19.1%）、宿泊業・飲食サービス業が65人（構成比14.6%）、サービス業50人（11.3%）、生活関連サービス業・娯楽業が42人（9.5%）の順となっている。

また、就職先別では、県内が621人（男子361人、女子260人）、県外が651人（男子467人、女子184人）となり、県内就職者の割合は48.8%で、前年度より0.9ポイント上昇した。

県外の就職先では、愛知県が145人で最も多く、次いで大阪府が141人、香川県が97人の順となっている。

表 24 高等学校の進路別卒業生数

年次	卒業生			大学等進学者(A)			専修学校(専門課程)進学者(B)			専修学校(一般課程)等入学者(C)			公共職業能力開発施設等入学者(D)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成16年3月	8,147	4,073	4,074	3,222	1,461	1,761	2,083	906	1,177	655	414	241	88	75	13
17	7,902	3,972	3,930	3,219	1,481	1,738	2,045	906	1,139	578	372	206	84	74	10
18	7,463	3,733	3,730	3,042	1,393	1,649	1,894	837	1,057	583	338	245	83	73	10
19	7,365	3,707	3,658	3,074	1,450	1,624	1,537	655	882	729	386	343	45	41	4
20	6,624	3,329	3,295	2,972	1,343	1,629	1,460	620	840	441	263	178	33	28	5
21	6,908	3,376	3,532	3,010	1,289	1,721	1,663	692	971	431	257	174	80	73	7

(つづき)

年次	就職者(E)			一時的な仕事に就いた者(F)			左記以外の者(G)			死亡・不祥の者(H)			再掲(A)(B)(C)(D)の内就職者		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成16年3月	1,267	783	484	140	59	81	677	362	315	15	13	2	21	4	17
17	1,294	848	446	101	53	48	571	229	342	10	9	1	14	2	12
18	1,297	826	471	81	40	41	482	225	257	1	1	0	8	2	6
19	1,438	933	505	59	25	34	463	204	259	20	13	7	4	-	4
20	1,262	853	409	67	33	34	389	189	200	0	0	0	4	3	1
21	1,267	826	441	32	23	9	415	210	205	10	6	4	5	2	3

(注) 平成16年3月から調査項目に「一時的な仕事に就いた者(F)」が追加された。

表 25 高等学校卒業生の進学率・就職率

年次	大学等進学率(%)			就職率(%)			全 国					
	計	男	女	計	男	女	進学率(%)			就職率(%)		
							計	男	女	計	男	女
平成16年3月	39.5	35.9	43.2	15.8	19.3	12.3	45.3	43.6	47.1	16.9	19.1	14.7
17	40.7	37.3	44.2	16.6	21.4	11.7	47.3	45.9	48.6	17.4	19.8	14.9
18	40.8	37.3	44.2	17.5	22.2	12.8	49.3	48.1	50.6	18.0	20.5	15.4
19	41.7	39.1	44.4	19.6	25.2	13.9	51.2	50.0	52.5	18.5	21.2	15.8
20	44.9	40.3	49.4	19.1	25.7	12.4	52.8	51.4	54.3	19.0	21.8	16.1
21	43.6	38.2	48.7	18.4	24.5	12.6	53.9	52.3	55.5	18.2	21.1	15.2

表 26 県内外就職者の推移

年 次	卒業生総数	就職者総数	県 内 就 職 者			県 外 就 職 者		
			計	男	女	計	男	女
平成16年3月	8,147	1,288	936	527	409	352	260	92
17	7,902	1,308	847	508	339	461	342	119
18	7,463	1,305	753	417	336	552	411	141
19	7,365	1,442	778	438	340	664	495	169
20	6,624	1,266	607	367	240	659	489	170
21	6,908	1,272	621	361	260	651	467	184

図6 高等学校卒業生数及び進学率・就職率の推移

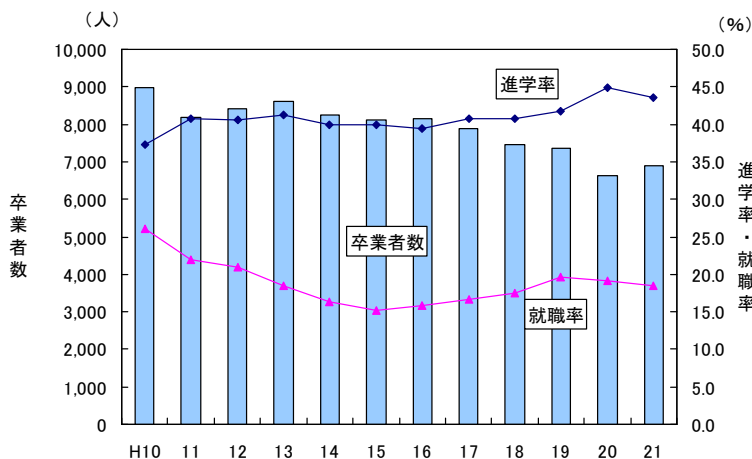


図7 卒業生の進路別構成

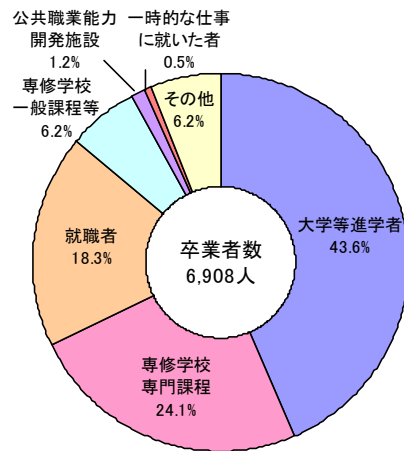


表27 高等学校卒業生の都道府県別就職者数

区分	合計	男	女
北海道	—	—	—
青森	—	—	—
岩手	—	—	—
宮城	—	—	—
秋田	—	—	—
山形	—	—	—
福島	—	—	—
茨城	1	1	—
栃木	3	3	—
群馬	—	—	—
埼玉	3	3	—
千葉	4	2	2
東京	53	38	15
神奈川	17	12	5
新潟	—	—	—
富山	1	—	1
石川	—	—	—
福井	—	—	—
山梨	—	—	—
長野	—	—	—
岐阜	1	—	1
静岡	5	—	5
愛知	145	118	27
三重	9	5	4
滋賀	23	18	5

区分	合計	男	女
京都	11	5	6
大阪	141	98	43
兵庫	44	29	15
奈良	4	2	2
和歌山	—	—	—
鳥取	—	—	—
島根	—	—	—
岡山	17	14	3
広島	20	15	5
山口	4	1	3
徳島	2	2	—
香川	97	72	25
愛媛	32	17	15
高知	621	361	260
福岡	1	1	—
佐賀	—	—	—
長崎	1	1	—
熊本	—	—	—
大分	1	1	—
宮崎	1	1	—
鹿児島	—	—	—
沖縄	—	—	—
その他	10	8	2
合計	1,272	828	444

図8 就職者の産業別構成

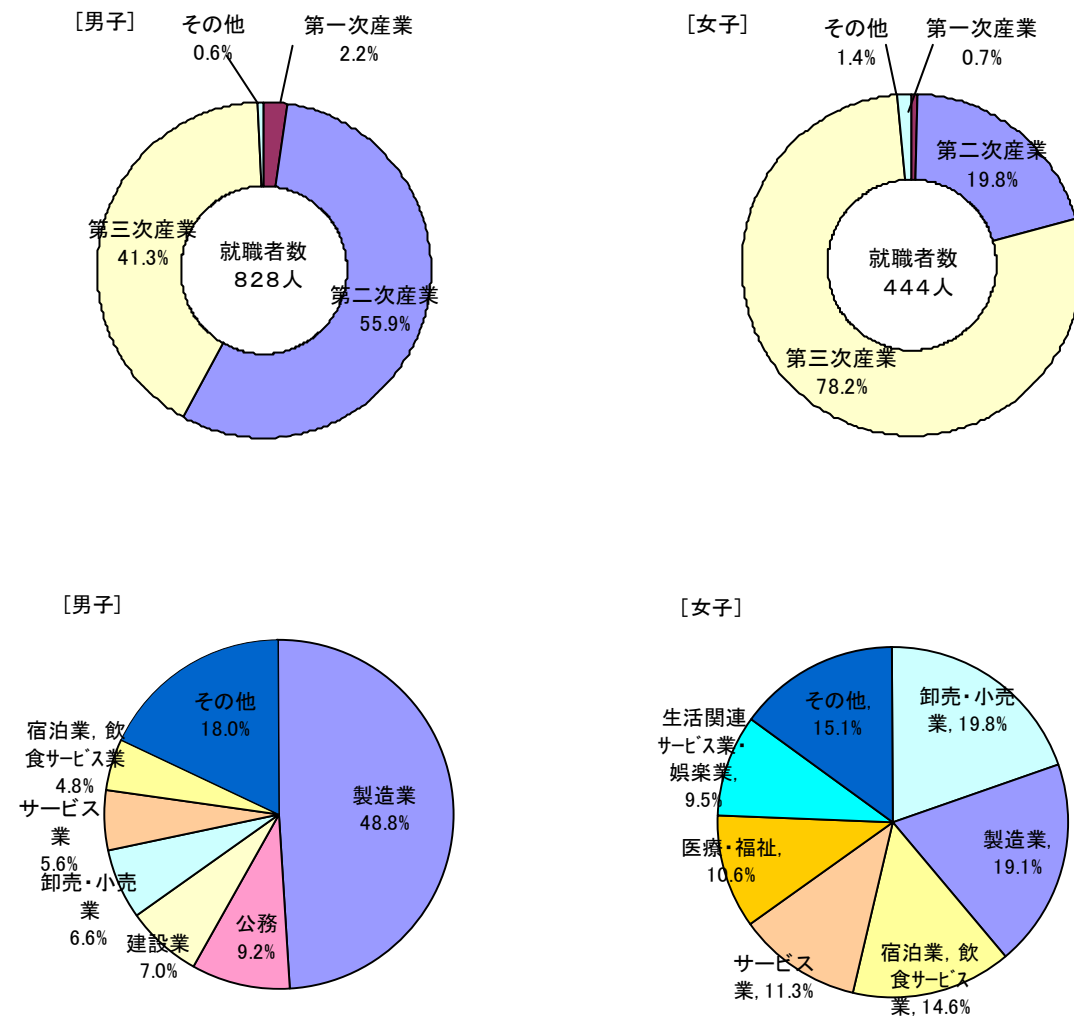
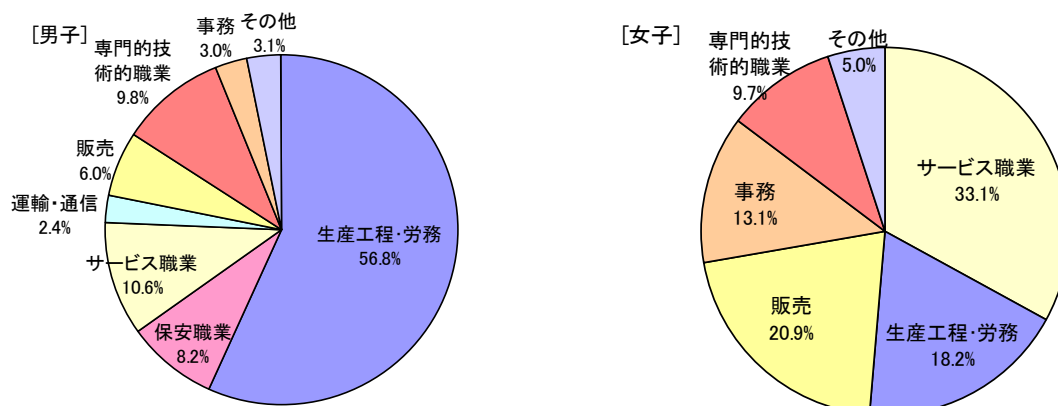


図9 就職者の職業別構成



2-2 高等学校（通信制）

（1）卒業者

卒業者総数は、139人（男子48人、女子91人）であった。

進路別にみると、大学等進学者9人、専修学校（専門課程）進学17人、就職者5人などとなっている。

（2）大学等の進学者（就職進学者を含む）

大学等進学者は、9人（男子2人、女子7人）であった。これを進学先別にみると、大学学部が4人、短期大学本科が5人となっている。

（3）就職者（就職して大学等へ進学・入学した者を含む）

就職者総数は、5人（男子4人、女子1人）であった。

産業別にみると、第二次産業が2人、第三次産業が3人となっている。